

社会人経験のある新人看護師の特徴 －病棟師長の視点から－

滝島 紀子¹⁾ 大藪 菜穂子¹⁾

要 旨

(目的) 看護基礎教育における社会人経験のある学生の育成方法を考える手がかりを得る目的で、病棟師長の視点から社会人経験のある新人看護師の特徴を明らかにする。

(方法) 経験3年以上の病棟師長200名

(結果) 感性については「物事を受けとめにくい」、思考については「自己判断が多く、思考の柔軟性が弱い」、行為については「コミュニケーションや接遇がよい」、チームワークについては「スタッフとのかかわりができ、チームに溶け込める一方、スタッフとのかかわりが困難なこともある」という傾向があった。

(看護基礎教育への示唆) 感性においては「身につけているパターン以外の受けとめができるように」、思考においては「身につけている価値観以外の観点でも考えられるように」、行為においては「対人関係慣れに注意しながら、患者とのかかわりが強化できるように」、チームワークにおいては「社会人としての気負いなく、安心して学生同士がかかわれるように」していく。

キーワード：社会人経験

新人看護師

特徴

I はじめに

昨今の看護基礎教育においては、「高校卒業後や大学卒業後、何らかの仕事を経験してから入学した学生」「高校卒業後、介護士としての仕事を経験してから入学した学生」「結婚し、主婦を経験してから入学した学生」など、なんらかの社会人経験のある学生が少なくない。これに伴い、臨地においても社会人経験のある新人看護師は少なくない。

このような状況において、看護基礎教育においては、「社会人経験のある学生は、レギュラーの学生とちょっと違う」「社会人学生に対するかかわりにおいては、何らかの配慮が必要になることがある」、新人看護師として仕事を行う臨地においては、「社会人経験のある新人看護師は就職後やや適応が難しいように感じる」「社会人経験のある新人看護師にかかわるさいは、何らかの配慮が必要になる」などの社会人経験のある学生や新人看護師に対する印象や配慮の必要性を耳にすることがある。

このことから、看護基礎教育においても卒後教育

においても社会人経験のある学生や新人看護師は、社会人経験のない学生や新人看護師と比較した場合、どんなところに特徴があるのかを明らかにしたうえで、かかわっていく必要があるのではないかと思われる。

そこで、過去5年間の社会人経験のある学生や新人看護師についての研究をみると、社会人経験のある看護学生に関する研究^{1) 2) 3)}は多々あった。一方、社会人経験のある新人看護師に関する研究としては、社会人経験のある看護師の就労継続に関する研究^{4) 5) 6)}、社会人経験のある看護師に対する支援に関する研究^{7) 8)}、社会人経験のある看護師の心理状態に関する研究^{9) 10) 11)}などはあったが、社会人経験のある新人看護師の特徴を明らかにした研究はみあたらなかった。

そこで、今回は、社会人経験のある新人看護師の特徴から、看護基礎教育における社会人経験のある学生の育成方法を考える手がかりを得る目的で、大局的にスタッフをみる立場にあり、かつ、日々社会人経験のある新人看護師の育成に携わっている病棟

1) 川崎市立看護短期大学

師長の視点から社会人経験のある新人看護師の特徴を明らかにしたので、その結果をここに報告する。

II 研究目的

看護基礎教育における社会人経験のある学生の育成方法を考える手がかりを得る目的で、病棟師長の視点から社会人経験のある新人看護師の特徴を明らかにする。

III 用語の定義

社会人経験のある新人看護師の特徴とは：社会人経験のない新人看護師と比較して社会人経験のある新人看護師に特に目立つ点

IV 研究方法

1 研究デザイン

質的記述的研究

2 対象

かつて研究協力依頼を行った全国の300床以上の総合病院71施設のなかから無作為抽出した50施設の師長経験3年以上の病棟師長200名

3 調査期間

平成30年1月24日(水)～平成30年2月9日(金)

4 調査方法

自作の質問紙(無記名自記式)による調査。調査紙は、病院の看護部宛に郵送し、看護部に研究対象として該当する看護師長への配布を依頼した。回収は、看護部から依頼された看護師長が調査紙に添付した封筒にて自分の意思で回答・返送する方法を用いた。尚、調査の依頼にさいしては、研究の主旨と個人情報保護されることを書面で説明した。

5 調査内容

1) 社会人経験のない新人看護師と比較した場合の社会人経験のある新人看護師の特徴

下記(1)～(5)についての回答は、すべて自由記述形式とした。

- (1) 感性(物事の受けとめ)における特徴
- (2) 思考(臨床判断)における特徴
- (3) 行為(患者とのかかわり)における特徴
- (4) チームワーク(スタッフとのかかわり)における特徴
- (5) 上記以外の特徴

尚、オランダの看護過程の看護師の知覚、看護師の思考、看護師の行動から(1)～(3)の項目

を、看護実践にはチームワークが不可欠であるため(4)の項目を設定した。

6 分析方法

1) は、記述内容を1単位とし、その意味が損なわれることのないよう留意して記述内容の類似性・相違性に着目して比較検討を行い、カテゴリーを抽出した。この一連の過程においては、研究者が繰り返し検討を行い、分析結果の妥当性に努めた。

7 倫理的配慮

対象には、データを研究目的以外には使用しないこと、調査紙は無記名であるため個人は特定されないこと、調査紙に添付した封筒での調査紙の返送は自由意思に基づくものであり、調査紙の返送によって研究への同意とみなすことを文書で説明した。尚、本研究は、川崎市立看護短期大学研究倫理委員会の承認を得て実施した。(承認番号 第R 83 - 1)

V 結果

1 対象の概要

調査紙の回収数は69、回収率は34.5%であった。

2 社会人経験のない新人看護師と比較した場合の社会人経験のある新人看護師の特徴

1) 感性における特徴(表1)

「変わらない」8人であり、特徴としては「言われたことを受けとめない」28人、「幅広く受けとめる」8人、「言われたことを受けとめる」5人、「冷静に受けとめる」5人、「全体的に受けとめる」5人、「感性が低い」3人、「多角的に受けとめることができない」3人、「細部を受けとめることができない」3人など10のカテゴリーが抽出された。

2) 思考における特徴(表2)

「変わらない」15人であり、特徴としては「自己判断が多い」22人、「思考に柔軟性がない」12人、「今までの経験から判断する」10人、「理解に時間がかかる」10人、「思考に柔軟性がある」9人、「自分で考えない」8人、「自分の意見を言える」7人、「思い込みが強い」7人、「深く考えすぎる」5人、「思考がまとまらない」4人、「思考が短絡的である」4人、「自分で考えようとする」4人、「自分の考えを正当化する」4人、「自分の価値観で判断する」4人、「意思がはっきりしている」3人、「自分の考えを主張する」3人、「応用力がない」3人、「固定観念が強い」3人、「根拠を考える力が弱い」3人、「予測性がない」2人、「早とちりする」2人など26のカ

テゴリーが抽出された。

3) 行為における特徴 (表3)

「変わらない」2人であり、特徴としては「コミュニケーションがとれる」27人、「接遇がよい」23人、「対応が丁寧である」22人、「かかわりが上手である」7人、「言葉遣いが丁寧である」6人、「要領よく行っている」6人、「馴れ合いになりやすい」5人、「対応が落ち着いている」4人、「挨拶ができる」3人、「相手を思いやることができる」3人、「責任転嫁しやすい」3人、「気負いがみられる」3人、「対象に対する思いが弱い」3人、「細やかな感情のやりとりができない」2人、「上から目線になる」2人、「そつなく対応できる」2人、「相手に合わせた対応ができる」2人、「積極的である」2人、「自信過剰である」2人、「緊張が強い」2人、「ストレスが強い」2人など23のカテゴリーが抽出された。

4) チームワークにおける特徴 (表4)

「変わらない」2人であり、特徴としては「コミュニケーションが上手にとれる」13人、「消極的な感じがある」9人、「スムーズに溶け込める」8人、「関係が築けない」8人、「打ち解けるのが難しい」8人、「プライドが高く、馴染みにくい」8人、「同期のなかでリーダーシップがとれる」7人、「気遣いができる」7人、「スタッフとの関係が良好である」6人、「相手の気持ちを考えて行動でききる」6人、「自分の思いを表出しない」6人、「チームワークを大切にしている」5人、「礼儀正しい振る舞いができる」4人、「協調性がある」4人、「一人で行動することが多い」4人、「周りの目を気にしている」4人、「壁をつくっている」3人、「コミュニケーションがとれない」3人など20のカテゴリーが抽出された。

5) 上記(感性・思考・行為・チームワーク)以外の特徴 (表5)

上記以外の特徴としては、「同期に対して」「自己知覚に対して」「退職に対して」の3つのカテゴリーが抽出された。

カテゴリーの内容は、「同期に対して」では<他の新人より自分はできると思っている><同期と比較されるのを嫌う>など、「自己知覚に対して」では<自分の思い通りにならないことに対してのジレンマが強い><思うようにできないと落ち込むことがある>など、「退職に対して」では<自分がこの職場にあわないと感じたら、辞めることに抵抗がない><家庭での役割と仕事の両立が困難になり、退

職を考えるにいたる>などであった。

3 社会人新卒看護師の特徴についての意見(表6)

社会人新卒看護師の特徴についての意見として、「特徴というより個人の能力の差であるように思う」「社会人経験というより、年齢的な違いかもしれない」「社会人経験での違いより、むしろ個々の生育歴やパーソナリティの違いではないか」などがあった。

VI 考察

社会人経験のない新人看護師と比較した場合、社会人経験のある新人看護師に特に目立つ点として今回明らかになったことは、**社会人新卒看護師の特徴についての意見**にあるように「個人の能力の差」「年齢的な違い」「個々の生育歴やパーソナリティの違い」ということもできるが、このことを念頭において、社会人経験のある新人看護師の主な特徴について考察していく。

感性についての特徴では、「幅広く受けとめる」「言われたことを受けとめる」などの特徴がある一方、「言われたことを受けとめない」「感性が低い」などの特徴があったことから、感性は低い傾向にあるのではないと思われる。この要因を次の思考における特徴で見してみる。思考の特徴としては、「思考に柔軟性がある」「応用力がある」などの特徴がある一方、「自己判断が多い」「思考に柔軟性がない」「今までの経験から判断する」「思い込みが強い」という特徴があった。このような思考には「社会人経験者はそれまでの経験に照らして状況の意味づけをする傾向がある」¹²⁾といわれていることから、かつての仕事の遂行において身についた思考パターンや仕事を行うことを通して獲得した思考パターンが影響しているのではないかと考えられ、このような思考パターンが、物事を受けとめるさいの障壁となり、物事の受けとめ幅を狭くしているのではないかと考えられる。

思考における特徴においては、「自分の考えを正当化する」「自分の価値観で判断する」「自分の考えを主張する」などの特徴があった。これは、上記同様、かつての仕事における成功体験から得た確信が影響しているのではないかと考えられる。

さらに、思考においては、「理解に時間がかかる」「仕事を覚えるのが遅い」「多重課題が難しい」などの特徴があった。これは、「社会人学生は、若い時

の様にはいかない、記憶力が悪いし、柔軟な発想ができないとその困難さを語っていた¹³⁾ということから、新人看護師になっても学生時代と同様の課題をもっていることが影響しているものと思われる。

行為における特徴では、「コミュニケーションがとれる」「接遇がよい」「対応が丁寧である」などの特徴がある一方、「要領よく行っている」「馴れ合いになりやすい」などの特徴があった。このような特徴には、かつて、仕事を遂行するうえでさまざまな人とかかわったという体験が影響しているのではないかとと思われる。

チームワークの特徴では「コミュニケーションが上手にとれる」「スムーズに溶け込める」「スタッフとの関係は良好である」などがあつた。これは「社会人看護師は、チームや先輩との人間関係に対し、社会性を発揮した気配りや苦手な先輩とは距離をとるなど、円滑な人間関係の努力をしている。それは、社会人として多種多様な人との交流やコミュニケーションからの経験を対応力に生かしているからと考えられる¹⁴⁾」といわれているように上記同様、かつて、仕事を遂行するうえでさまざまな人とかかわったという体験が影響しているのではないかとと思われる。一方、「関係が築けない」「打ち解けるのが難しい」「壁をつくっている」などの特徴は、「社会人経験があることで、特別視や問題視されていると思うことは、先輩看護師から同じ仲間として認めてもらえないという認識となる¹⁵⁾」といわれていることから、現在の状況における自己概念が他者との関係づくりの阻害要因になっているのではないかとと思われる。

上記以外の特徴としては、「同期に対して」は、同期との比較に敏感な傾向にあること、「自己知覚に対して」は、できると思う自分と思うようにできない自分との狭間で苦悩している傾向にあること、「退職に対して」は、看護という仕事の困難に直面した場合は、安易に辞めてしまう傾向にあることなどが明らかになった。「同期に対して」は、「社会人看護師は、同期の新人や周囲との比較をしながら自分ができているかどうかを評価している面もあり、社会人看護師自身が、同期と違う差別感を持っていることも伺われる¹⁶⁾」ということから、社会人経験がある、または同期より年上であるということが、同期より優れていなければという思いを生じさせ、

それが同期と比べてどうかという意識に繋がっているのではないかとと思われる。「自己知覚に対して」は、社会人経験があり、前職では仕事ができていることから、看護という仕事もできるはずという思いや気負いがストレスやジレンマを生じさせているのではないかとと思われる。「退職に対して」は、「社会人学生は、家庭での育児や家事等の役割の調整が難しく、社会人学生の学習阻害因子となる¹⁷⁾」とあることから、新人看護師になっても学生時代と同様の課題をもっており、新人看護師においては、仕事における何らかの困難に直面したときには退職という選択をしてしまうのではないかとと思われる。

Ⅶ 看護基礎教育における社会人経験のある学生の育成方法における示唆

今回の結果より、看護基礎教育における社会人経験のある学生の育成方法を考えるうえで以下の示唆が得られた。

- 1 感性（物事の受けとめ）においては、身につけているパターン以外の受けとめができるようにしていく。
- 2 思考（判断）においては、身につけている価値観以外の観点でも考えられるようにしていく。このさいは、相手の思考タイプを尊重する。
- 3 行為（患者とのかかわり）においては、対人関係慣れに注意しながら、患者とのかかわりを強化していく。
- 4 チームワーク（学生同士でのかかわり）においては、社会人としての気負いなく、安心して学生同士がかかわれるようにしていく。

Ⅷ 研究の限界と今後の課題

今回の研究は、調査紙の回収数 69、回収率は 34.5%であったため、一般化には限界がある。今後は、さらに調査対象数を増やして結果の妥当性を高めていく必要がある。

Ⅸ 結論

病棟師長の視点からみた社会人経験のある新人看護師の特徴としては、以下のことが明らかになった。

- 1 感性については、物事を受けとめにくい傾向があつた。
- 2 思考については、自己判断が多く、思考の柔軟性が弱い傾向があつた。

- 3 行為については、コミュニケーションや接遇がよいという傾向があった。
- 4 チームワークについては、スタッフとのかかわりができ、チームに溶け込める一方、スタッフとのかかわりが困難なこともあるという傾向があった。

著者資格：TNは研究の着想から最終原稿作成に至る研究プロセス全体に貢献した。ONは表作成に貢献した。

引用文献

- 1) 渡邊恵ほか. 看護教員が認識する社会人経験のある学生の学習者としての特徴と教育の困難感, 43回日本看護学会論文集, 看護教育, 2013, P 106 - 109.
- 2) 鈴木孝ほか. 社会人経験のある学生の学生生活に関する研究, 愛知県立総合看護専門学校紀要, P 43 - 54, 2013.
- 3) 魚住郁子ほか. 社会人経験のある看護学生が学校生活の中で学びつづけていくプロセス, 日本看護学教育学会誌, P 41 - 49, 2015.
- 4) 吉川二三子. 社会人経験を経て新人看護師として入職した精神科看護師が3年以上就労継続できた要因, 日本看護学会論文集 看護管理, Vol. 46, 2016, P191 - 194.
- 5) 高野真由美ほか. 社会人経験を有する卒後3年目看護師の就労継続に関連する要因, 日本看護学会論文集 総合看護, Vol. 44, 2014, P244 - 247.
- 6) 西原雄一ほか. 社会人経験をもつ新人看護師の看護職継続過程における職業経験に関する研究, 群馬県立県民健康科学大学, Vol. 10, 2015, P89 - 107.
- 7) 高橋喜代子ほか. 病床規模別にみた社会人経験のある新人看護師に対する支援の実態, 日本看護学会論文集 看護管理, Vol. 45, 2015, P55 - 58.
- 8) 奥田映里子. 社会人経験をもつ看護師の就労継続につながる要因 受けてきた新人看護師教育からの分析, 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究集録, Vol. 39, 2014, P177 - 184.
- 9) 金子多喜子ほか. 社会人経験のある新卒看護師の早期退職までの心理的变化過程, 看護教育研究学会誌, Vol. 8, no. 1, 2016, P3 - 13.
- 10) 渋沢こず恵ほか. 社会人経験をもつ新人看護師の職場適応までの思い, 日本看護学会論文集 看護管理, Vol. 42, 2012, P30 - 33.
- 11) 大西奈津紀ほか. 社会人経験のある新人看護師が体験したリアリティショックを克服できた要因, 日本看護学会論文集 看護管理, Vol. 44, 2014, P273 - 276.
- 12) 渡邊恵ほか. 看護専門学校(3年課程)における社会人経験のある学生に対する教育方法の現状分析, 日本看護学教育学会誌, Vol.24 No. 1, 2014, P 61.
- 13) 魚住郁子ほか. 社会人経験のある看護学生が学校生活の中で学びつづけていくプロセス, 日本看護学教育学会誌, 2015, P 46.
- 14) 高野真由美ほか. 社会人経験を有する新人看護師の就労継続に関連する要因 -就労6か月の困難感と取り組み-, 川崎市立看護短期大学紀要, Vol.17 No. 1, 2012, P26.
- 15) 高野真由美ほか. 社会人経験を有する新人看護師の就労継続に関連する要因 -就労6か月の困難感と取り組み-, 川崎市立看護短期大学紀要, Vol.17 No. 1, 2012, P24.
- 16) 高野真由美ほか. 社会人経験を有する新人看護師の就労継続に関連する要因 -就労6か月の困難感と取り組み-, 川崎市立看護短期大学紀要, Vol.17 No. 1, 2012, P24.
- 17) 魚住郁子ほか. 社会人経験のある看護学生が学校生活の中で学びつづけていくプロセス, 日本看護学教育学会誌, 2015, P 46.

表1 感性における特徴

カテゴリー	記述内容（抜粋）
変わらない（8）	<ul style="list-style-type: none"> ・他の新人と変わらないと感じる ・大きな違いはないように思う
言われたことを受けとめない（28）	<ul style="list-style-type: none"> ・言われたことを素直に受けとめにくい感じがする ・素直に受けとめられない傾向にある
幅広く受けとめる（8）	<ul style="list-style-type: none"> ・それまでの生活などが関係し、幅広く受け止めることができる ・視野が広い
言われたことを受けとめる（5）	<ul style="list-style-type: none"> ・言われたことを素直に受け入れる ・言われたことを柔軟に受け止める
冷静に受けとめる（5）	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的に受けとめる ・冷静でうろたえない
全体的に受けとめる（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を把握することができる ・全体に目を向けることができる
感性が低い（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を深く感じるができない傾向にあるように思う ・物事に対する受けとめが鈍いように感じる
多角的に受けとめることができない（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を多角的な視点で把握することができない ・多角的に捉えることができない
細部を受けとめることができない（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・細部に目がいかず、おおざっぱに受けとめる ・細部に気づかない
いろいろな気づきがある（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなことに気づく ・気づきが多い
感性が過敏である（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・感性が過敏すぎるように思う

表2 思考における特徴

カテゴリー	記述内容（抜粋）
変わらない(15)	<ul style="list-style-type: none"> ・特に変わりはないように思う ・あまり差は感じられない
自己判断が多い(22)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己なりの判断で動いてしまうことが多い ・自己判断する傾向がある
思考に柔軟性がない(12)	<ul style="list-style-type: none"> ・思考は硬直化の傾向にある ・一度覚えたら他の視点で考えることが難しいように感じる
今までの経験から判断する(10)	<ul style="list-style-type: none"> ・経験値で判断する ・社会人経験を活かして判断している
理解に時間がかかる(10)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導してもスムーズに理解できない ・ものごとの考え方を導くさいは時間がかかる
思考に柔軟性がある(9)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導に対して柔軟に受け止める ・物事の受け止めには柔軟性がある
自分で考えない(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・話しやすい先輩にすぐに訊く ・判断を先輩看護師に求める傾向がある
自分の意見を言える(7)	<ul style="list-style-type: none"> ・考えや意見がはっきりしている ・自分の意見をきちんと述べるができる
思い込みが強い(7)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えにとらわれ、思考がストップしてしまうことがある ・さまざまな人生経験があるためか思い込みが強い
深く考えすぎる(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・深く考えすぎてなかなか手が出せない ・判断をするさいに考え込んでしまう
思考がまとまらない(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・思考がバラバラの印象がある ・どう考えたいかわからず、困っていることがある
思考が短絡的である(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり考えずに行動する傾向にある ・短絡的に判断することがある
自分で考えようとする(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・言われたからというのではなく、自分なりに考えようとする ・「自分はこう考えるけど」と自分で考えようとしている
自分の考えを正当化する(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と異なった場合、自分の考えを正当化する ・社会人としての経験から自分の考えが正しいと思っている
自分の価値観で判断する(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の善悪の基準で判断する ・自分の価値観が優先する傾向にある
意思がはっきりしている(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思をしっかりと持っている ・物事に対する意思表示をすることができる
自分の考えを主張する(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容を素直に受け止めず、自己主張することが多い ・自分の考えと異なった場合、反発することがある
応用力がない(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・状況対応的な思考ができない ・学生時代の成績が優秀でも臨床で活用できない
固定観念が強い(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・考えが一辺倒である ・過去の体験が固定観念になっているときがある
根拠を考える力が弱い(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を考えるのが苦手 ・行動が先で根拠を考えない傾向にある
応用力がある(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな気づきや捉え方をして物事に取り組むことができる ・常識にとらわれないその場にあった考え方ができる
常識的な考え方をする(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・極端な発想はしない ・当たり前は当たり前として、常識的な受け止め方をする
的確な報告ができる(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔明瞭に伝えることができる ・的確に報告することができる
予測性がない(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージトレーニングができない ・結果を考えた行動ができない
早とちりする(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・話をよく訊かずに行動してしまう傾向にある ・早とちりする
<その他>	
仕事を覚えるのが遅い(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務をなかなか覚えられない ・仕事ができるようになるまでに時間がかかる
多重課題が難しい(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか多重業務の優先順位を考えることができない ・複数の患者を担当した場合、思考が追いつかないことが多い

表3 行為における特徴

カテゴリー	記述内容（抜粋）
変わらない（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に変わらない ・ 大きな違いはない
コミュニケーションがとれる（27）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的早期からコミュニケーションがとれる ・ コミュニケーションのとり方がスムーズで上手
接遇がよい（23）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人としての経験があるためか、接遇はとてもよい ・ 挨拶からはじまり、言葉遣いなど接遇に問題はない
対応が丁寧である（22）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に声をかけ、丁寧に援助している ・ とても丁寧に患者さんにかかわって話をしている
かかわりが上手である（7）	<ul style="list-style-type: none"> ・ かかわりは上手で、患者さんから信頼されている ・ 社会人経験がある分、患者とのかかわりが上手である
言葉遣いが丁寧である（6）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧な言葉遣いで患者さんと接している ・ 言葉遣いは丁寧である
要領よく行っている（6）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題に目を向けず、やり過ごすことがある ・ 必要最低限のルーチン化されていることを要領よく行っている
馴れ合いになりやすい（5）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人とのかかわりに馴れているためか馴れ合いになる ・ コミュニケーションはスムーズであるが、友達のなかかわりになりやすい
対応が落ち着いている（4）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち着いた対応ができる ・ 対応は落ち着いてる
挨拶ができる（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分から挨拶をする ・ 挨拶はよくできる
相手を思いやることができる（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手が不快になるようなかかわりはしない ・ 患者に対してやさしく、患者の気持ちを考えて対応している
責任転嫁しやすい（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題が生じた場合、責任を他者に転嫁することがある ・ 経験が自信になっており、うまくいかないと人のせいにする
気負いがみれる（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「正しくあらねば」「できなければ」という過度な気負いが見られる ・ 「レギュラーの新人よりできない」という強い思いが感じられる
対象に対する思いが弱い（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親身になるというより、無難に過ごしている ・ 患者のことをあまり考えない
細やかな感情のやりとりができない（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の感情の動きに着目することが苦手 ・ 感情をくみとることができないことがある
上から目線になる（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時折、上から目線になる ・ 上から目線のかかわりをしていると感じることもある
そつなく対応できる（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にこれといった問題なく、無難に対応している ・ そつなく対応ができる
相手に合わせた対応ができる（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の反応をみて、やり取りができる ・ 患者のペースに合わせて話を聞くことができる
積極的である（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に患者とかかわっている ・ 積極的である
自信過剰である（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実力以上の自信をもってかかわるため、患者とトラブルことがある ・ 患者・家族に自信満々でかかわっていることがある
緊張が強い（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ かかわり方はスムーズだと思うが、緊張の強い人がいる ・ ミスは許されないという思いから、緊張感が高くなっている
ストレスが強い（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ミスなく過ごしたい」という思いからストレスが高くなっている ・ 「こうあるべき」という意識が強いほど、現状とのギャップでストレスが強い
状況にあった対応ができない（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の状況や空気感をよんだ対応ができない
横柄な態度をとる（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人に馴れてくると、横柄な態度をとる人がいる

表4 チームワークにおける特徴

カテゴリー	記述内容（抜粋）
変わらない（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に変わらない ・ 特徴は感じない
コミュニケーションが上手にとれる（13）	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションの取り方が上手である ・ コミュニケーションはよくとれる
消極的な感じがある（9）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一歩引いている感じがする ・ 自分からかかわることはあまりない
スムーズに溶け込める（8）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力的でチームに打ち解けるのが早い ・ 新人の頃からスタッフに溶け込める方が多い
関係が築けない（8）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同期の新人とは話があわず、関係を築くことができないことがある ・ 経験に自信がある場合、なかなかうまくスタッフと関係が築けない
打ち解けるのが難しい（8）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打ち解けられない ・ チームに打ち解けるのが苦手な人が多いように思う
プライドが高く、馴染みにくい（8）	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライドがあるため、周りの人と馴染むまでに時間がかかる ・ 本人のプライドが邪魔をして、うまく溶け込めない場合がある
同期のなかでリーダーシップがとれる（7）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新人のなかでは、リーダー役となることが多い ・ 同期のなかで1番リーダーシップを発揮する
気遣いができる（7）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護業務以外でも気配りができる ・ メンバーに対する気遣いができる
スタッフとの関係が良好である（6）	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフと仲良くやっている ・ 素直で、スタッフとの関係が良好な人が多い
相手の気持ちを考えて行動できる（6）	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフの思いを真摯に受け止め行動している人が多いように思う ・ 自分のことだけでなく、他人のことも考えて行動できている
自分の思いを表出しない（6）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分からは発言しないが、指名すると妥当な発言をする ・ 周りの目を気にしてか自分の思いを伝えることがない
チームワークを大切にしている（5）	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームワークが良好になるよう配慮している ・ チームメンバーの状況にあった振る舞いをしている
礼儀正しい振る舞いができる（4）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年下の看護師に対しても先輩として接している ・ 上下関係のわきまえができています
協調性がある（4）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの空気をよみ、人と接することができる ・ 他のメンバーの考えを聞こうとする姿勢がみられる
一人で行動することが多い（4）	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームワークがとれず、スタンドプレイが多い ・ 自分一人で行動する
周りの目を気にしている（4）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの空気をよみ、人と接している ・ 周囲の目を気かけながら対応している
壁をつくっている（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分を見せない壁をつくる人がいる ・ 自分で壁をつくっている
コミュニケーションがとれない（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言い方に問題があり、チームワークを壊してしまうことがある ・ コミュニケーションのとれない人が多い
協調性に欠ける（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働する意思はあるが、協調性に欠けるところがある
謙虚さがない（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新人としての謙虚さのない人がいる

表5 上記（感性・思考・行為・チームワーク）以外の特徴

カテゴリー	記述内容
同期に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・他の新人より自分はできている（2） ・社会人経験のない同期のスタッフより自分は優位だと思っている（1） ・同期より対人関係が優れていると思っている（1） ・社会人経験のない同期のスタッフに対してライバル意識が強い（1） ・同期と比較されるのを嫌う（1） ・自分が年上であることを気にしている（1） ・同期の看護師との実践能力や先輩看護師の対応の違いを気にしている（1）
自己知覚に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思い通りにならないことに対するジレンマが強い（1） ・仕事ができないという思いがあると、看護師としてのジレンマに陥ることがある（1） ・思うようにできないと落ち込むことがある（1） ・1日も早く自立したいと急いでしまい、できない自分を嫌になっていることがある（1） ・自分が思うようにできない場合、ストレスが強くなる（1） ・社会人経験のあることが、プレッシャーとなっていることがある（1） ・自分で動けるはずという意識が思考を邪魔していることがある（1）
退職に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がこの職場にあわないと感じたら、辞めることに抵抗がない（1） ・家庭での役割と仕事の両立が困難になり、退職を考えるにいたる（1） ・看護を目指す人と生活のための就職では仕事への取り組み姿勢に差があり、後者の場合は合わないと思うと辞めることが多い（1）

表6 社会人新卒看護師の特徴についての意見

<ul style="list-style-type: none"> ・特徴というより個人の能力の差であるように思う（4） ・社会人経験というより、年齢的な違いかもしれない（1） ・社会人経験での違いより、むしろ個々の生育歴やパーソナリティの違いではないか（1） ・社会人経験者としてひとくくりにはできないと思う（1） ・前の職場の経験が大きく影響しているように思う（1） ・的確に判断できる人、そうでない人がいるので、社会人経験の有無はあまり関係がないと感じる（1）
--